

# 目次

教育方法44

まえがき	深澤広明	3
------	------	---

## 第Ⅰ部 教育のグローバル化と教育方法学の課題

1 グローバル化の中の教育方法学	中野和光	12
1 はじめに 12		
2 国家を超えた機関の教育政策 12		
3 新自由主義のイデオロギー 13		
4 経済のグローバル化の教育への影響 14		
5 コンピテンシーに基づいた教育に代わるもの 19		
6 おわりに 21		
2 國際的なコンピテンシー志向は学校教育に何をもたらしうるか —EUの経験より—	本所 恵	25
1 コンピテンシー志向の教育改革がもたらす関係性 25		
2 EUにおけるキー・コンピテンスの策定と活用 26		
3 コンピテンス志向の教育改革 30		
4 相互に学び合う共同関係の土台として 35		
3 グローバル化は教育方法に何をもたらすのか	大野栄三	38
1 グローバル化と標準化 38		
2 國際比較がもたらすもの 39		
3 グローバル化がもたらす包括する用語 42		
4 グローバル化対応に益はあるのか 47		

## 第Ⅱ部 道徳の「特別教科」化と教育実践の展望

1 戦後教育と道徳の「特別教科」化	折出健二	52
1 公権力と道徳の関係について 52		
2 戦後道徳教育をめぐる論点 53		

---

3 学習指導要領改正の問題点	58	
4 結 語	63	
<b>2 道徳の「特別教科」化と学校教育の課題</b>		山崎雄介 66
1 なぜ「教科化」なのか	66	
2 「教科化」による変化①—評価の強化	68	
3 そもそも何を評価するのか?	70	
4 「教科化」による変化②—検定教科書の導入	71	
5 道徳「教科書」をめぐる困難—教育内容研究・教材研究の遅れ	73	
6 「教科化」は改善の契機になるか?	75	
7 皮相な「教科化」を超えて	76	
<b>3 教科の道徳化と学校教育の課題</b>		
—社会科における道徳的指導のあり方の検討を手がかりに—		
		桑原敏典 80
1 はじめに—問題の所在—	80	
2 市民育成における道徳的な指導の位置づけ	81	
3 市民育成における道徳的な指導のあり方	86	
4 社会科授業における道徳的な指導の方法	90	
5 おわりに	91	
<b>4 シティズンシップ教育と道徳教育</b>		
—国際的な観点から—		
		池野範男 95
1 問題の所在	95	
2 学校の役割の転換	97	
3 ポスト近代の教育への変革: 4つの類型	101	
4 ポスト近代教育としてのシティズンシップ教育	105	
5 結論: 社会的人間の形成の新たな教育の要請	107	

---

## 第Ⅲ部 教育方法学の研究動向

### 1 道徳教育の研究動向

—『道徳・性格教育ハンドブック』(HB) の内容分析を中心に—

藤井啓之 110

- 1 「道徳・性格教育ハンドブック」(HB) の位置づけと内容構成 110
- 2 歴史的・哲学的視点から 112
- 3 L.コールバーグ理論をめぐる議論 113
- 4 道徳・慣習・個人的選択の区別と関連—社会的認知領域理論 116
- 5 教科外教育における道徳教育 118
- 6 教科学習と道徳教育 120

### 2 教師の実践知研究の動向と課題

—ナラティヴ・アプローチを中心に—

藤原 顕 123

- 1 問題設定 123
- 2 教師の実践知に関する研究 123
- 3 教師の実践知の育成に関する研究 129
- 4 結び 131

### 3 教育実践の質的研究の動向

藤江康彦 134

- 1 はじめに 134
- 2 教育方法学における質的研究の可能性 135
- 3 研究の動向 137
- 4 おわりに 143